

「地域日本語教室・ 日本語教師・支援者の役割を考える」

地域日本語教室日本語パートナーさんを対象にした研修会です

第1回
日本語学習支援者
研修会
参加費無料

【日時】▶▶▶10月17日(日) 10:00~12:00

オンライン (ZOOM使用) 研修会です

- 地域日本語教室の役割とは
- 日本語学習支援者に求められること など

🎤 講師プロフィール 🎤

- ・2018、19年文化庁委託事業「CINGA日本語学習支援者育成カリキュラム開発事業」システムコーディネーター
- ・法務省「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」に関する有識者会議委員
- ・文化庁「日本語教師の資格に関する調査研究協力者会議」委員



講師：NPO法人国際活動市民中心
コーディネーター 新居 みどり氏

自宅から接続できない！心配！という方はユニタス
日本語学校から受講できます。

先着5名様【電話受付：10月4日～8日 9:00～17:00】

お問い合わせ

連絡先

ユニタス日本語学校
070-3343-7444(古屋)
furuya@unitas-ej.com

申込

◆QRコード申込◆



◆電話申込◆

070-3343-7444
(古屋)

アンケート結果集計

アンケート名：第1回日本語学習支援者研修会アンケート

研修会実施日：2021年10月17日（日）

※原文掲載

I 〈講演内容のふり返し〉

1. 心に響いた、感じた“ことば”は何ですか。キーワードをご記入ください。

- ・地域日本語教室とは、日常的・継続的に参加できる居場所、機会提供の場である（5件）
- ・地域日本語教室こそが多文化共生の最前線（4件）
- ・最終的に人を救えるのは人（2件） ・セイフティーネット（2件）
- ・「地域日本語教室」の機能のうちの「居場所」（2件）
- ・外国人の定義と外国人住民の定義 ・外国人住民に対しては「寄り添う心」が必要
- ・大切なのは「空間」ではなく「人」である ・日本語学習は入り口
- ・在留資格 ・ダブルリミテッド ・多文化共生 ・地域活性化
- ・互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築きながら
- ・「外国人はどのようなことに困っているか」の項目についてご案内をいただいたときに独身から結婚した後の各種の難問が出てくことは私はあまり考えたことがありませんでした。なるほど言葉の壁は大変だと思いました。

2. 「気づき」や「感想」をご記入ください。

- ・地域日本語教室は、パートナーと外国人が対等な関係でつながっていて、日本語を教える人と教えられる人という一般的な関係ではないということ、外国人にとって日本語教室が心のよりどころになっているということに、責任とやりがいを感じました。
- ・日本語教室を主催している市や町から、回を追うごとに受講者が減少する、継続的受講が望めないという声を聞くことが多いです。主催者及び日本語教師・パートナーへの「生活者のための日本語教室」である意識づけ（交流・国際理解・地域参加・日本語学習・居場所など）、またそのための研修が必要だと感じました。
- ・外国人から相談を受けた場合、相談者の在留資格を確認することが必要。在留資格によって受けられる支援が異なる。

- ・外国につながる子ども達が「ダブルリミテッド」になる恐れがある。母語を大切にすることが大切であること。
- ・外国人の数の統計を見る場合、単に数字の大小ではなく、総人口に対する割合に注意すること。
- ・学習者さんにとって日本語教室がホッとできる場所になるように努力したい。
- ・支援者は日本語だけを教えればいいのではなく、交流を通して信頼しあえる関係を築くことが重要。
- ・保育ボランティアや工作指導など、様々な支援ができることを知った。
- ・日本語学習者の定義やとらえ方、知っておくべき実態などが、具体的な資料を通してとてもよく把握できた。
- ・日本語パートナーに求められていることについて、とてもよく理解できた。
- ・講師の説明が適切で、分かりやすかった。
- ・新居さんの講演は、わかりやすく、内容も非常に有意義でした。特に、地域日本語教育の現場を、単に外国人に日本語を教える場ではなく、生活者としての外国人の「生活」と日本との接点として、幅広い活動の可能性や、課題の解決の場として捉えるという考え方は、新しい視点でした。
- ・現実実際に、地域日本語教室に参加させて頂いています。教室で授業をするだけでは、ただその場のタスクをこなしていき、日本語の定着などに注力してしまっていました。本日の研修を聞いて、地域としてこの教室が存在する意義を日本における外国事情と照らし合わせながら改めて確認できたこと、それから、災害時などの情報伝達機関にもなるという重要な役割にもなっていることなど、色々な視点からの収穫があり、とても有意義でありました。
- ・外国人や外国人住民の定義を知らなかったので、知ることができてよかった。
- ・外国人の人口増加率や若者の割合が多いことを知り、日本の少子高齢化の問題を支える存在である人々が生活しやすい環境を整えることが必要だと思った。
- ・日本人も困ることは、外国人も困ることだろうと思った。
- ・その地域に暮らす日本人が直接支えることも大切だが、外国人同士で支え合えるようなコミュニティがあると、困ったことを相談しやすいかもしれないと思った。
- ・地域日本語教育においては、単に日本語を教えるのではなく、外国人にいかにしてその地域に溶け込んでもらうのかという大きな役割があるのだと今更ながら自分の中ではっきりしました。各地域日本語教室では、コーディネーターと学習支援者が中心となり運営をして行き、その過程で日本語教育が必要な場合は日本語教師（のちに公認日本語教師）が担うという立ち位置なのではないかと思います。

- ・日本では少子高齢化に伴い、労働力が必要になってきていて、それを埋めるために外国人を入国させる。だから外国人労働者は若い人が多いが、働けなくなったら国へ帰らなければならない。
- ・会話クラスを担当して、技能実習生の労働環境の過酷さに驚きました。それでも学生は日本が好きで、日本語を一生懸命勉強しようとしています。働けなくなっても、日本に居られる環境づくりを政府はするべきだと思いました。今回の研修で、地域の方々の協力もあって、外国人住民が安心して住めると思いました。会話クラスの学生は時間がありませんが、地域に寄り添った情報も会話に組み込んで、時間が合えば交流の場に行ってもらえればいいなと思いました。
- ・中々学習の時間を取れないので、「来られる時に来てね」スタンスで温かく見守ろうとも思いました。
- ・2020年4月に北杜市に移住し、北杜市における外国人支援の状況が全くわからなかった。パートナーとして日本語教室に参加して、ようやく北杜市に在住する外国人の顔と行政の支援状況が見えてきた。2022年1月早々にjica 5次隊として訓練所に入所するため北杜市の活動に最後まで参加できないが、2年半後に帰国してからは、北杜市における外国人支援に微力ながらお手伝いしたいと考えている。
- ・今回の研修会について、日本語教室サポーターを行っていくうえでの、様々な問題点等を研修するためのものかと思っていましたら、もっと大きい意味で、多文化共生などのお話がほとんどでしたので、ちょっと面食らった部分がありました。また、市町村担当者様が、ご参加されなかった点も残念でした。
- ・分かりやすく、説得力ある新居講師の講義により、日本語パートナーの役割を十分に理解しました。数葉の写真について頂いた、シーン解説からも察知できるように、生活に必要な目的を達成する為、或いは関心もてる異文化の課題を中心に日本語の話題を選択することで、一層の効果を期待できるのではないかと思います。忍野村在住の外国人については、一般的に彼らを雇用する企業が良く保護しており、日本語の社内教育も当たられているように聞き及びます。又、外国人同士、先輩同僚間で伝わる日本語が彼らの語学力を支えている感じです。それ故、比較的レベルの高い日本語から教育を始められる可能性があるのではないかと思います。
- ・「地域日本語教室」がその地域に住んでいる外国人にとって必要なものであり、言葉だけでなく、生活上、または精神的な問題の解決にも重要な役割を果たしていることがよくわかりました。おにぎりの握り方など、そのような場で実際に外国人と触れなければ、私たち日本人にとっては身近なことで、その問題点に気付かなかったことも、外国の方からしてみればわからずに、悩んだり、ストレスを感じたりすることがあるのだということが具体的な例を示していただきよく理解できました。今後、外国人が増えていくだろう日本社会では多文化共生のためには非常に大切な活動だと感じました。また、私たち日本人にとっても多文化を知り、共生していくためには大切な場であると感じました。
- ・大学で日本語教育を学んでいるにもかかわらず、山梨県の現状について知らないことがたくさんあった。今回の研修会を通して、とりあえず、外国人の方で困っている人がいた場

合には、「わからない」ではなく、「国際交流センター」だと正しい窓口を伝えられるように心がけたい。また、地域日本語教室が、「日本の日本語教育における最先端」だということを知り、日本語パートナーの役割を誇り強く感じた。そして、日本語教師を目指す身として、日本語教師への憧れが増す機会になった。

- ・ 今回の研修会の内容、構成、進め方など大変参考になり役立つことばかりでした。また、講師の新居みどり先生のような若い専門の先生方（勿論ユニタスの古屋先生もです）が、地域在住外国人支援の研修と実践をしておられること、大変心強い限りです。
- ・ 外国人と外国人住民との違いが確認できたこと。
- ・ 現在、在住外国人は農林水産部門と看護介護領域（技能実習生）で増加の現状があること。
- ・ 日本の入管法（2018）改正、その後外国人対応策開始（2019）により全国 100 か所外国人ワンストップセンターが設置されたこと。対応がとても遅いとは思いますが、設置されてよかったと思うこと
- ・ 地域の日本語教室の機能について確認できたこと「同じ地域に暮らす人々が、日常的に継続的に～する場」
- ・ 日本に入国する外国人には主に「労働者」としての役割を期待し、在留資格を与えているため、その結果として若い人が多くなり、仕事場と住まいの往復中心の生活になる。その結果、地域との接点が少ないという問題点がある（それを彼らが問題と考えるかは別だと思うが）ことがわかった。けれども、これは、若い世代、職種、立場に限らず多くの外国人にも同様のニーズや課題があると考えられるが。
- ・ 山梨県には定住外国人が多いこと。
- ・ 3つの壁（法律、ことば、こころ）を確認したこと。
- ・ 日本には在留資格が 29 あり、それにより生活保護受給対象になるか否かがかわること。
- ・ 講師の新居先生の地域日本語教室の具体的な活動を知り、自分の住む北杜市においても、このような活動ができるようになればと強く思った。
- ・ 日本語学習の支援を始めて日が浅いこともあり、いかに上手に日本語を教えるか、いかに日本語を上達してもらうかに関心が集中していました。けれども今日の研修会で異文化交流の原点に立ち戻るよう促された気がしています。
- ・ 地域によっては日本語学校が盛んに行われているように感じました。北杜市はこの点については遅れていると痛感しました。もっと身近に接してあげる必要がある。と 6 枚の写真のところで感じました。出来れば個人的にあって話す機会ができ継続的にできればいいなあと思います。私もテネシー州に 6 か月の出張に行ったときに日常生活をするときにつまづく時が多々ありましたので同じような不安を抱えているのだろうなあと思うと他人ごとではないと感じております。

3. もっと深く知りたいこと、より広く知りたいことがありましたらご記入ください。

- ・外国人の雇用には、ブローカーが存在するということですが、これらは政府が業として正規に承認している組織なのでしょうか。尚、入国に当たって必要最小限の日本語、或いは日本での生活に必要な常識などについて教育を与えているのでしょうか。この経緯で滞在を許可される場合の滞在資格はどの資格に当たり、許可される滞在期間は何年になっているのですか。
- ・山梨県での具体的な活動について、機会があれば知りたいです。
- ・コロナ禍によるオンライン化が急激に発展したことで、地域日本語教室、日本語教育の現場で具体的にどのような対応が必要になっているのか。教材づくりなど…
- ・本日は詳しく触れていない「ダブルリミテッド」、他地域での地域日本語教育実践例などの紹介。
- ・CINGA では他分野専門家による支援提供していると説明があったので、地域日本語教室に関わる地域住民が、基礎知識として持っていた方が良いと思われる分野（ex;3つの壁関連の法律/心理面支援の現状/課題等）
- ・北杜市において、上記の地域日本語教室を行うためにはどのようにすればよいのか、コーディネーターの方に教えていただきたい。
- ・すべて、のような気がしています。なかなか、これ、と1つに絞れません。
- ・今回は1月までの日本語学校のコースですが、ここで終わるのではなく今後も継続して外国人と会話がして行ける、お付き合いができる場を作っていくにはどんなやり方があるのか、また北杜市の企画課がどのようにしていきたいのか。この企画が終了した後のことについても知りたい。
- ・北杜市のどんな企業がどこの国の外国人を雇い入れているのか、企業が困っていること、そこで働く外国人との間に問題が生じていないかなど、企業サイドの話を聞きたい。
- ・技能実習生のように時間がない外国人住民には、どうやったら学習の時間を作れるか。企業に協力して頂いて、日本語の授業をすとか、そういうことが出来れば良いなあと思いました。外国人が多く単純作業の企業は、「日本語」が必要ないのかもしれませんが…。
- ・とても興味のある分野なので、ぜひ今後もこのような形で、新居さんのような機関の方々の研修などを経て、知識を身につけていければ嬉しいです。
- ・CINGA の活動の具体例を更に知りたいと感じました。
- ・地域日本語教育の具体的な実践事例をさらに知りたいと思いました。
- ・在留資格についての学習をしたいと思います。
- ・CINGA の活動についてさらに知りたいと思いました。
- ・地域日本語教室がどこで開かれているか、どんな支援を必要としているかなど。

- ・ コロナ禍で日本語支援のあり方はどのように変化したか。それにどのように対応すると良いか。
- ・ パートナーとして外国人とかかわる場所（地域日本語教室など）を探すにはどうしたらよいでしょうか。身近に困っている外国人がいるのか、パートナーとしてかかわることができる場所や機会はあるのか、わかりません。

Ⅱ 〈研修会参加の動機〉

1. 研修会参加の目的やこういった事柄を求めて参加なさったかご記入ください。

- ・ 日本語を教えることを通して社会貢献するためのスキルを身につけたい。
- ・ 笛吹市「日本語教室」日本語パートナー（学習支援者）に選ばれたため。
- ・ 現在、私は忍野村国際交流推進協議会の会長の任にあり、数名の外国人と家庭的な交流を続けております。協議会主催の英語クラブは既に発足いたしましたが、更に在住外国人と多言語で交流を進める中、彼らの日本語能力向上を図る機会を考えておりました。好機を与えられたと思い、参加させていただきました。
- ・ 地域での「多文化共生」の活動に興味があり、活動の現状や、そこから出てくる課題について自分なりに考えてみたいと思ったからです。
- ・ 北杜市日本語パートナーとして、日本語教師を目指す身として、日本語教育における基礎知識・役割を再確認したかったため。
- ・ 留学生への日本語教育現場での日本語教師経験があり、日本在住外国人の現状や課題等に関心を持っていたこと。また、今回日本語パートナーとして活動に参加したこと。
- ・ 地域日本語教室について、また日本語教育について関心があるので、その知識を得るため。
- ・ 今は、日本語学習に関することならなんでも吸収したいと思っています。
- ・ 外国人との日本語の基礎知識って何だろう。基礎を知らずして接してはまずいと思い研修会に参加させてもらいました。
- ・ 日本語教室からの案内
- ・ 会話クラスと留学生クラスの違いにどう対応したらいいかわからず、答えを探すために参加させて頂きました。
- ・ 「地域日本語パートナー（学習支援者）」「地域日本語教師」の立ち位置が知りたかったので参加しました。
- ・ 日本に住む外国人への理解を深めたい。
- ・ 現在地域日本語教室に関わっている／今後も関わっていきたいので参加しました。
- ・ 昨年度、初めて日本語パートナーとして活動してみて、その役割について考えさせられました。さらに続けて活動したいと考え、そのための研修を受けたいと思いました。
- ・ 現在日本語ボランティアをしており、様々なレベルの人を教えているので、その考え方の方法や内容についてのアドバイスをいただきたいと思った。
- ・ 最新の日本語支援の状況を知りたい。
- ・ 県内で日本語支援に携わる方と知り合いたい。

- ・今後の協会事業企画に向けて、これからの地域日本語教室のあり方、日本語教師・パートナーの役割を具体的に知りたかったこと、また何より、尊敬する CINGA の新居さんの研修会には、できるだけ参加したいと思っていたから。

2. 今後も地域日本語教室（教育）にかかわっていきたいと思いますか。（全 18 件）

はい	18
いいえ	0
その他	0

3. 2 で「はい」とお答えした方にお聞きします。どのようにかかわっていきたいですか。

（全 18 件 複数回答あり）

日本語教師としてかかわっていきたい	10
日本語パートナー（支援者）としてかかわっていきたい	11
その他	4

その他……できれば個々に会って会話が出来る活動ができる場が欲しい

パートナーとしての経験もしてみたいです

地域国際交流協会として関わっていきたい

一地域住民として

4. 3 でのかわりを考える上で困難に感じていること、不安に思うことがありますか。

自由にご記入ください。

- ・大学生という立場であるため、目上の学習者さんと交流する際に、あまり「対等」という立場を意識することができない。発音や文法について修正する際に躊躇してしまう。
- ・教育すると云う高いレベルではなく、対等の立場で対話し、そのやり取りの中で言葉のニュアンスを理解させながら、発音、語調などを直してゆくことで十分やれると思っています。相手の方の生活環境、関心事等を予め教えて頂けさえすれば一層効果的です。
- ・経験不足で、自分にそのような力量があるのか心配です。
- ・地域日本語教室が担う役割は大きく、現在、山梨の日本語ボランティアの状況（高齢化、人材不足など）を見ると、日本語教師やパートナーの皆さんが負担に思ってしまうのではないと思う点。
- ・学習者が「コロナ」の不安から対面を避ける傾向が強い。
- ・一対一の個人学習になるので、外部からの評価がなく、自分のやり方で良いのかどうか不安。

- ・日本語学習者の要望や要求にきちんとこたえられる実力を、身につけていきたいです。
- ・経験不足
- ・日本人は外国人にとって難しいと感じる言葉を難しいと感じることもなく使ってしまうため、わかりやすい言葉に変換するのが大変だなと思うことがあった。
- ・今回の教育で知った近隣の外国人の方と会うことができないか。また外国人の方はそういったことを希望してくれるか？身近に接する中で会話をし、日本の風習や地域の状況などを付き合いながら覚えてもらう活動ができればと考えます。その手段はありますか？
- ・日本語教師としての力量には不安と困難ばかり感じています。

5. 3でのかかわりを考える上で、支援してもらいたいことがありましたら、その内容をお書きください。

- ・最近、特に若い世代の日本人が使う言葉はかなり変わってきています。単語ばかりでなく、文法上でも変則的な表現が堂々と使われていますが、外国人に教える言葉としての許容範囲を決めておられましたらご教示いただきたいと思います。
- ・少人数の地域日本語教室の設置と運営をお願いしたいと思います。また、ベテランの指導者のもとでパートナーとしてかかわることで私自身も学習し、指導者としても活動できるように成長出来たら嬉しいです。
- ・県や市町村の自治体、地域日本語教育コーディネーター等との連携
- ・オンライン支援の注意点
- ・ベテラン支援員さんの授業の様子を見せてもらいたい。
- ・今後もこのような研修を定期的に続けてほしいです。
- ・自己研鑽の場の提供
- ・活動できるのは2年半先なので、いまのところありません。
- ・北杜市の企画課で計画したと思いますが今後小グループで集まって「お茶会」などのできる企画を考えてもらいたい。せっかくのチャンスができたのですから継続していける集会の場を考えていただきたい。
- ・地域日本語教室について、支援してくれる方や、指導してくれる方を知りたい。

Ⅲ 〈所属について〉

(全 18 件 複数回答あり)

令和 2 年度日本語パートナー	5
令和 3 年度日本語パートナー	8
その他	6
無回答	1

その他……ユニタス日本語学校 (3 件)

山梨日本語ボランティアの会 (2 件)

山梨県国際交流協会職員 (1 件)

振り返りシート結果集計

アンケート名：第2回日本語パートナー研修会振り返りシート

研修会実施日：2021年11月23日（火）

1. 今日の実践を通して、ご自身が達成できたと思うことに✓してください。（全16件）

	項目	✓回答数
1	相手に合わせて発話のスピードを意識した	14
2	大きい口をあけてはっきり発話するように意識した	15
3	学習者が発話するまで待つことができた	13
4	学習者の話を最後まで聴くことができた	12
5	理解度を把握するため、学習者の表情をよく見るようにした	14
6	一文を短く端的に伝えようと意識した	15
7	自分が使用した言葉が伝わらなかったとき、別の言葉を使ってみた	15
8	学習者を一人の大人として捉え、対峙するよう意識した	14
9	学習者が発話する時間のほうが長かった	11
10	学習者は自分の言いたいことが言えて満足したと思う	4

2. 本日の研修を通して、感じたことや考えたこと、ご自身の気づきを自由にご記入ください。
※原文掲載

- ・上記のような自己評価をしましたが、他の人が会話しているのを見て自分を改めて振り返ると、きっとたくさんしゃべっている自分がいたんだろうなと思いました。今回の研修ではパートナーとしての役割、あるべき姿を学ぶことができて良かったです。細かい点についてグループワークで話していただき、ありがとうございました。
- ・とても良い研修会だったと思います（内容）。
- ・前半の講義が後半の実践につながられていて良い構成でした。
- ・せっかく良い（わかりやすい）内容の講義を受けたのに、実践の場面で十分生かせない自分につながりました。何か“「共通点をさがす」「ビックリするような」という課題をクリアしなければ”という意識が強くなってしまい、「コミュニケーション活動を通しての学習」ということを忘れてしまったようでした。しかし、学生さんたちの一生懸命さ、活動への意欲が素晴らしく、充実した時間となったように思いました。「もっともっと実践をつまないと」と思いました。
- ・時間を過ごすうちに学習者の口数も多くなり親しみに似たものを感じて来ました。こちらが誘導してしまった感があり、待つことの大切さを知りました。
- ・外国人との接し方について講義を受けたことが参考になった。
- ・前半の講演を聞いて日本語パートナーとしての役割をあらためて知ることができました。教える、教えないの関係ではなく、共生社会の中でいい「パートナー」になれたらいいなと思いました。また、伝わる言葉の難しさを感じました。久しぶりに交流する機会がもてて楽しかったです。ありがとうございました。
- ・学習者から「日本人のお友達がいません。日本人のお友達がほしい。」と言われました。もし同じ年齢の日本人の方と（日本人の学生とか…）交流する機会があれば良いなと思っています。
- ・「待つ」「聴く」の姿勢の根本に、「信じる」があるというのは新鮮に感じられた。学習者同志で質疑ができるように誘導する困難さを感じた。
- ・学生さんは、みんな素直でとても楽しかったです。
- ・話したい量が人により違うので、グループの大変さを感じました。
- ・自分では待った（聞いた）つもりだけど自分ではわかりません。もっと、しっかりできるようになりたいです。
- ・今日の講習で学習者さんの気持ちになって対応しなくてはならないことが良く理解できました。
- ・パートナーとしての大切なポイントを学ぶことができました。学生さん達との会話も楽しかったです（そして、実践の反省もできました）。ありがとうございました。
- ・前半の古屋先生の Lecture は、大切なことが確認できて大変参考になりました。

- ・自分が質問するときは上記 1, 2, 6 に意識できたが、自分が質問に答えるときはなかなか難しかった。相手の話をきくときは、話の内容によって 3, 4 が意識できたりできなかったりした。
- ・二人の学習者ともすし屋でアルバイトしている、とのことだったので好きな「ネタ」を聞いてみた。あえて「ネタ」と言い表したけど伝わらなかったため言い換えの表現についてうまく伝えることができなかった（反省）（説明が長くなってしまった）。
- ・敬語、丁寧語を使ってしまう。
- ・相手の話を理解したいと思う気持ちと発話を待つという気持ちの狭間で揺れていました。みんなが話しやすい雰囲気を作れるように工夫しました。相手の表情をよく見すぎて、圧力をかけてしまったのではと心配しています…。学習者さん同士が話が盛り上がってくれるようになるための質問方法の工夫が必要だと思いました。

令和3年度山梨県地域日本語教育推進事業

日本語モデル教室評価

本モデル教室は、在住外国人が日本語を学習し、その力を高めることによって日常生活における日本語を介した相互理解の達成を目指している。また参加する日本人は外国人との協働コミュニケーション活動を通して、在住地域におけるよき多文化理解者と伝わる日本語の使い手に成長することを目的としている。そこで、本事業における日本語教室で目標がどの程度達成できたかを測るため、教室が在住外国人の日本語力向上に寄与するものであったか、参加した日本人にとって意識変容を促すものであったかを中心にアンケートとインタビュー調査を行った。

○対象者：教室参加者（北杜市教室及び忍野村教室の学習者と日本語パートナー）

※忍野村教室学習者については継続学習者が1名であったため、個別インタビューによる調査とした

○評価方法：①アンケート（文化庁令和3年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業アンケート）

②学習者インタビュー

③日本語パートナー振り返りシート

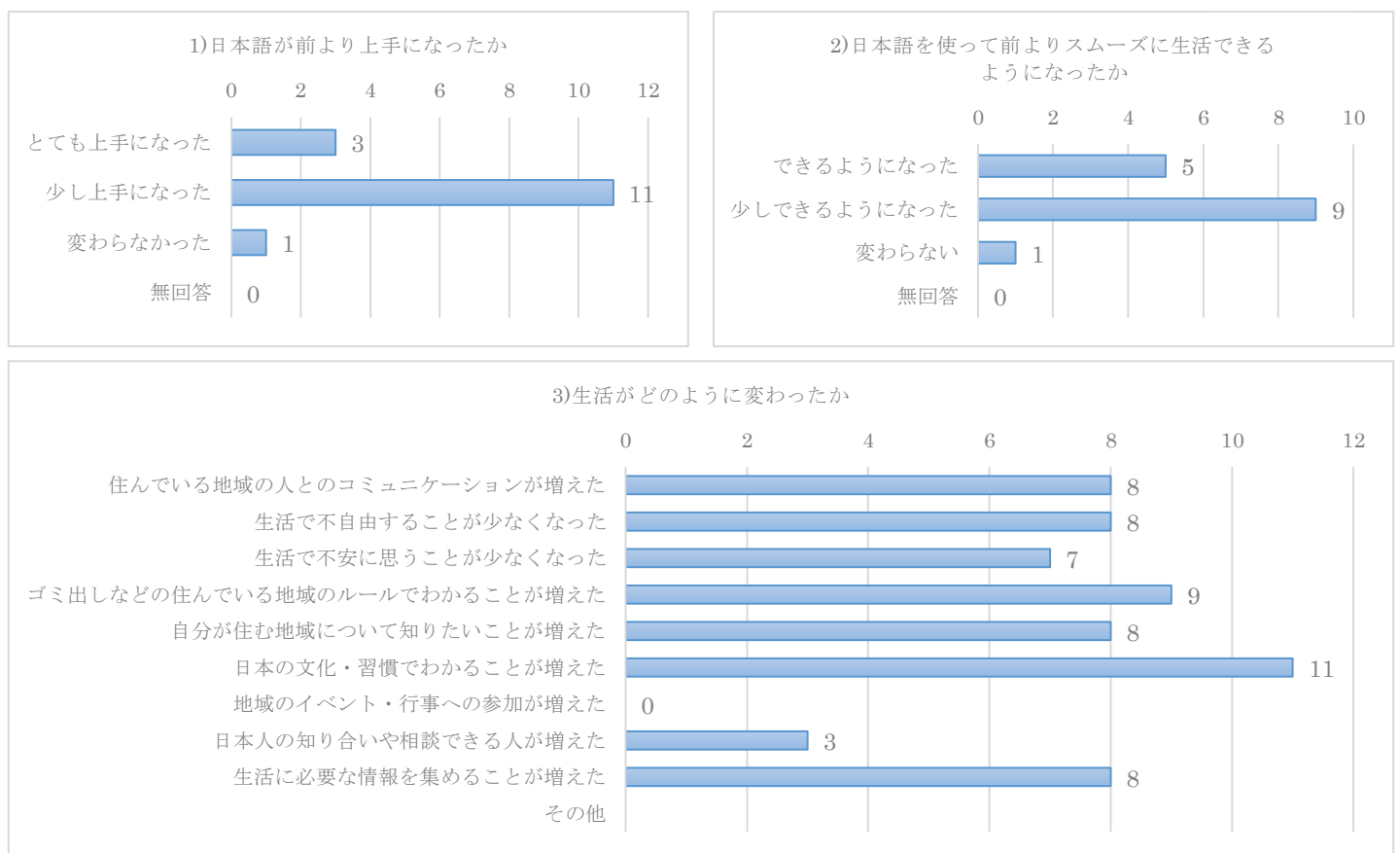
○実施時期及び実施方法：

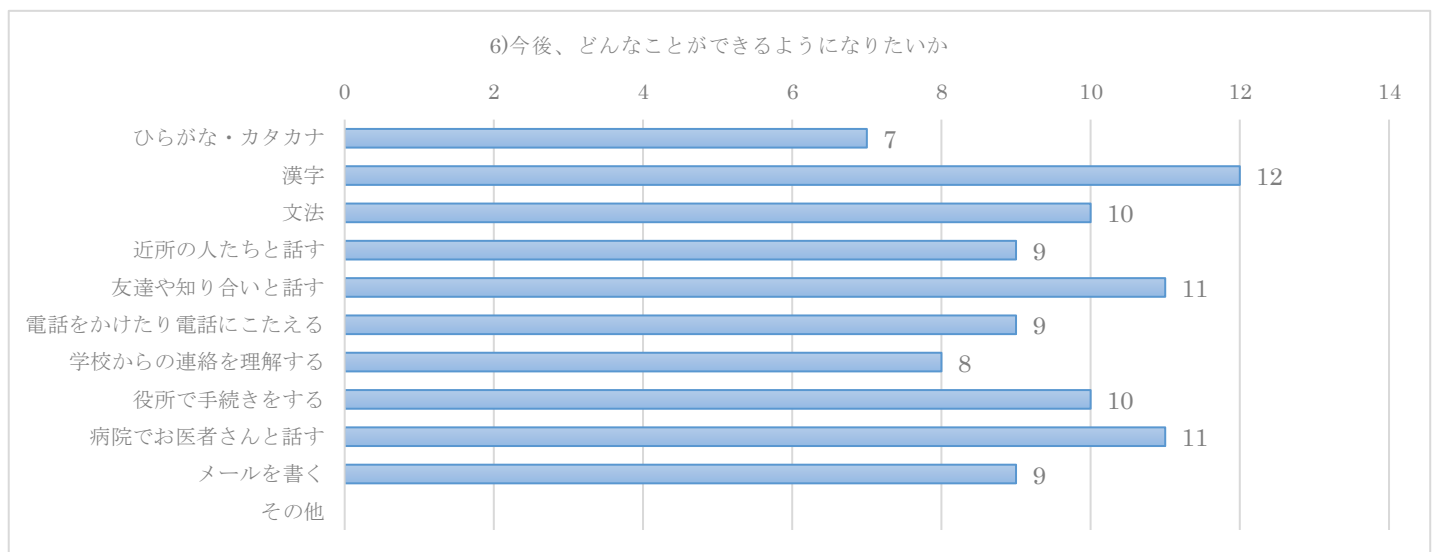
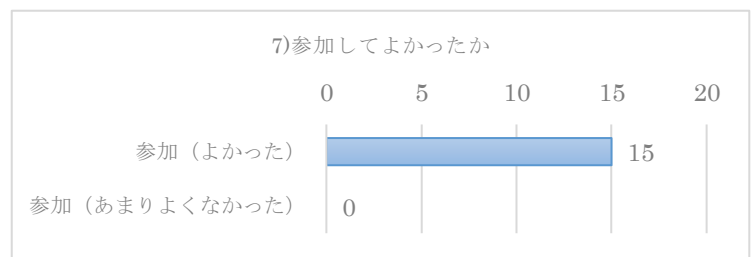
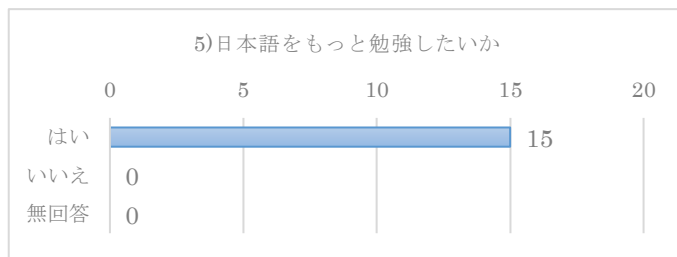
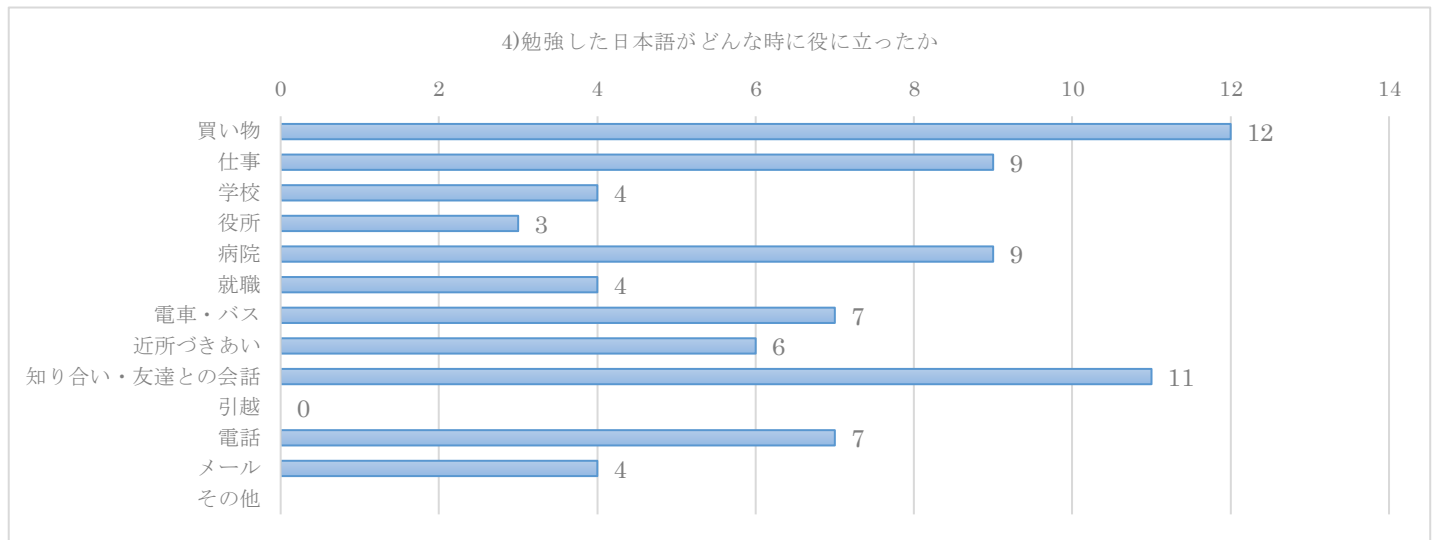
	① アンケート（8言語実施）	② 学習者インタビュー	③ 日本語パートナー振り返りシート
回答者	学習者・日本語パートナー	学習者	日本語パートナー
実施時期	教室全カリキュラム終了後	教室最終日	毎教室実施後
実施方法	アンケート用紙を郵送し返送にて提出 または Google フォームアンケート回答	グループ別自由対話形式	振り返りシートに記入後、メール添付にて提出

○教室評価の結果：結果は以下の通りである。

【学習者による教室評価】

①アンケート（文化庁令和3年度地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業アンケート） n=15





②学習者インタビュー ※文体を調整した。一部、聞き取り内容にインタビュアーの意識あり。

◇教室の感想

- ・楽しかった
- ・新しい言葉をたくさん覚えた
- ・話し方が丁寧になった
- ・ひらがな、カタカナが書けるようになった
- ・市民バスについて初めて知ることができてよかった
- ・先生の教え方が上手でとてもわかりやすい
- ・教室で同じ市に住む外国人に出会えて仲間ができた
教室で出会った仲間に仕事を紹介してもらって今は一緒に働いている
- ・さみしがりやなので教室で楽しく話せて仲間もできてよかった
- ・他の国の文化や習慣をたくさん知ることができてよかった

- ・（日本語上級レベルの参加者の参加理由と継続動機）

今まで「日本語学習」の機会がなかった。話はできるが仕事で使用する丁寧な話し方ができないので上手になってより活躍したいと思っている。教室では毎回知らない言葉に出会えた。教室は自身にとってとても有意義な存在である。

◇生活や自身の変化

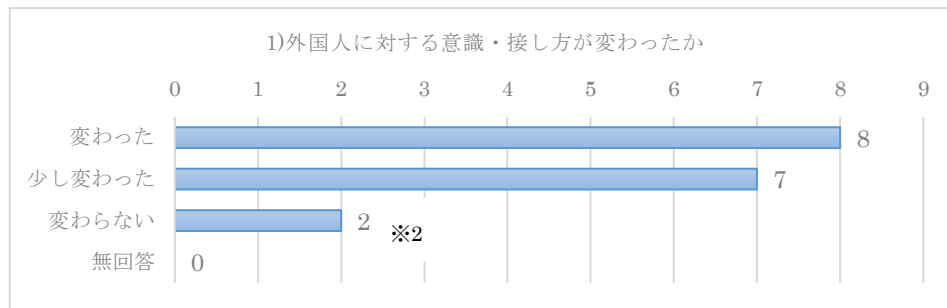
- ・日本語で話すことが楽しくなり、明るくなった
- ・日本語を使うことに自信がついた／自信をもって話せるようになった
- ・職場で同僚と話することが増えたのでうれしい
- ・日本語教室に参加する前は日本語がわからなかったが、今は日本人と少し話せるようになった
- ・日本語教室活動で教えてもらった地域の集まりに参加してママ友ができた
- ・Padlet※1に投稿するとき、はじめはGoogle 翻訳を使っていたが、使う回数がだんだん減っていった
ただ、漢字を使うのはまだまだ難しい
- ・レストランで注文するなど、生活の中で使う日本語が前より上手になった
- ・前より日本語を使うようになった
- ・近所の人と簡単な話を日本語でするようになった
- ・教室の日は仕事を休むようにした
- ・教室の日以外にも日本語をたくさん勉強した

◆要望、改善点

- ・会ってクラスがしたい
- ・ZOOM ははじめ操作が難しかった、音声聴きづらいときがある
- ・書く勉強がしたい、書いたものをチェックしてもらいたい
- ・読む勉強がしたい
- ・教室がもっと長い期間あったほうがいい
- ・1回の時間が長くてもいい（3時間）
- ・Padlet※1のコメントが思ったより少なかった

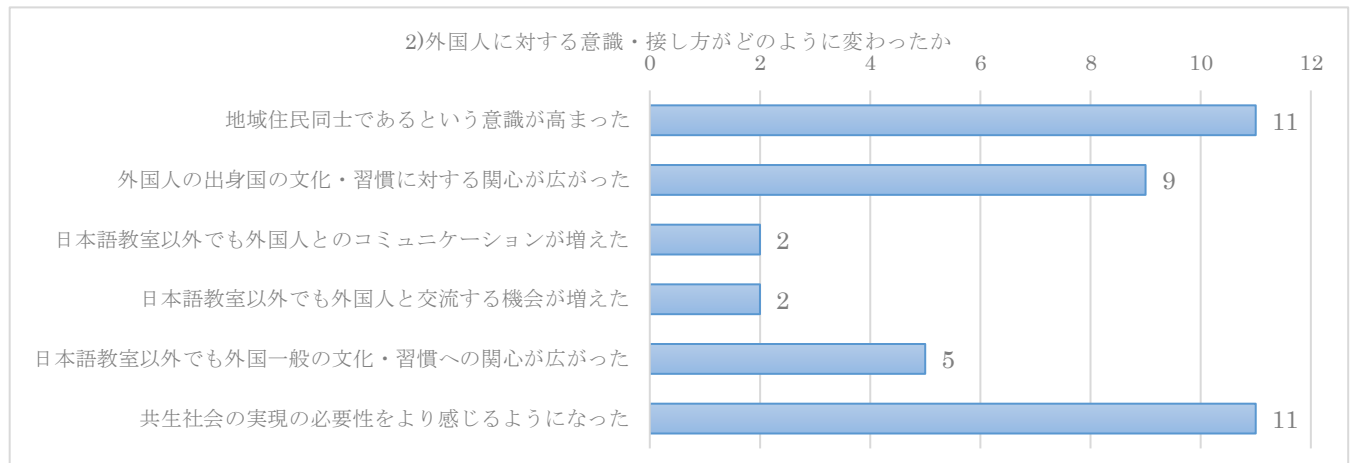
※1 Padlet オンラインツール。教室では掲示板機能を採用。文章や写真を投稿しシェアでき、参加者は投稿にコメントできる。日本語教室では宿題提出や教室活動で利用した。

【日本語パートナーによる意識変容】(回答数 17)



n=17

※2 変わらないと回答した者は以前より外国の方とのつながりが日常にあるため、変化なしとの理由であった



③ 日本語パートナー振り返りシート (教室の目的に鑑み自身の気づきや変容に関するコメントを抜粋)

- ・平易な日本語が使えるよう気をつけたい、もう少し外国の方に分かるような話し方をしたい
- ・先生と学習者さんのコミュニケーションの仕方に学ぶところが多い
- ・学習者さんが真面目で熱心。勉強したい気持ちが伝わりもっとは話してあげたい、話させてあげたいという気持ちになった。私も何か学びたい。
- ・同じ地域に住む外国人が大勢いることを知った
- ・日本語が上手な学習者とは普通に話せるので会話がよく通じてよかった
- ・学習者の楽しそうな様子に自分自身もハイテンションになってしまう。つい口をはさんでしまうので学習者の話をゆっくり聴くことを心がけたい
- ・学習者のレベル差に応じて言語コントロールするのは難しい
- ・北杜市のことをもっと知りたいと思った
- ・外国出身の皆さんから話が聞けることが貴重な経験
- ・学習者同士が教え合う点がいい
- ・生活圏が同じだと話題が共有しやすいし、いい情報もシェアできる、教室は情報共有の場になっている
- ・街でみかける外国人への見方が変わった。外国の人が困っていたら声をかけてみようと思うようになった



ほくと ししゅさい
北杜市主催

にほんごきょうしつ 日本語教室

だれでも べんきょうできます

ほくと し
北杜市で します

せいかつ やくだ にほんご
生活に役立つ日本語も べんきょうできます

にほんご べんきょう ひと じょうず はな ひと
はじめて日本語を勉強する人、もっと上手に話したい人
たの べんきょう
いっしょに楽しく勉強しましょう！

ひ べんきょうの日を きめます。アンケートにこたえてください
(6月25日(金)まで)



◇ 問い合わせ ◇

070-3343-7444
furuya@unitas-ej.com

ユニタス日本語学校(ふるや)

0551-42-1321

北杜市役所(ほくとしやくしょ)

※ほくとしやくしょに いってもいいです



山梨県地域日本語教育推進事業

令和3年度文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

北杜市主催

にほんごきょうしつ 日本語教室



はじまります

土曜日 14:00～16:00 @須玉ふれあい館 2F

2021年 8月21日、9月4日、18日、10月2日、9日、16日、23日
11月6日、13日、27日、12月4日、11日、18日

2022年 1月8日、15日、29日

❖ 8月21日はオリエンテーションです ❖

対象

ほくとし す がいこくじん かた
北杜市に住む外国人の方（就学者を除く）
せいかつ ひつよう にほんご べんきょう かた
生活に必要な日本語が勉強したい方

費用

おりよう
無料

定員

30人

申し込み



しめきり

締切 7月 26日

申し込み後、8月2日までに連絡がない人は
ユニタスまでメールか電話をください

◇ 問い合わせ ◇ 070-3343-7444

furuya@unitas-ej.com ユニタス日本語学校（ふるや）



山梨県地域日本語教育推進事業

令和3年度文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用



む りょう
無料
¥0

おしのむらしゅさい
忍野村主催

にほんごきょうしつ 日本語教室

だれでも べんきょうできます

おしのむら
忍野村で します

せいかつ やくだ にほんご
生活に役立つ日本語も べんきょうできます

にほんご べんきょう ひと じょうず はな ひと
はじめて日本語を勉強する人、もっと上手に話したい人
たの べんきょう
いっしょに楽しく勉強しましょう！

べんきょうのひを きめます。アンケートにこたえてください
(7月23日(金)まで)



◇ 問い合わせ ◇

070-3343-7444
furuya@unitas-ej.com

ユニタス日本語学校(ふるや)

0555-84-7738

忍野村役場(おしのむらやくば)

※おしのむらやくばに いってもいいです



山梨県地域日本語教育推進事業

令和3年度文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

募集中

忍野村主催

在住外国人のための

にほんご

きょうしつ

日本語教室



日本人の先生が日本語で教えます



すいようび

水曜日：18:30～20:00

2021年9月15日、10月13日、11月10日、12月8日
2022年1月12日、2月16日



にちようび

日曜日：10:00～11:30

2021年10月24日、11月14日、12月12日
2022年1月16日、2月20日

いつ来ても
いいです

場所

おしのむらしょうがいがくしゅう

忍野村生涯学習センター



せいかつ ひつよう にほんご べんきょう

生活に必要な日本語が勉強できます



にほんじん にほんご こうりゅう

日本人と日本語で交流できます

費用

むりよう

無料

お申込み
お問い合わせ

TEL

070-3343-7444

MAIL

furuya@unitas-ej.com

山梨県地域日本語教育コーディネーター 古屋(ふるや)



山梨県地域日本語教育推進事業

令和3年度文化庁「地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業」活用

※本事業は学校法人ユニタス日本語学校が山梨県より事業委託を受け運営いたします※